

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

小柴胡湯エキス錠クラシエ

(ショウサイコトウ)

特徴

- 「小柴胡湯」は、漢方の古典といわれる中国の医書「傷寒論」に収載されている薬方です。みぞおちから上腹部、脇腹にかけてつまつた圧迫感があり、食欲がなくはきけがあったり、口が苦く、粘つたりするような時に用いられています。
- かぜをひき十分に回復しないまま疲労感がのこったり、胃腸が弱り食欲がないなどの症状に対して効果があります。

⚠ 使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）
- (4) 高齢者
- (5) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人
- (6) 次の症状のある人
むくみ
- (7) 次の診断を受けた人
肝臓病、高血圧、心臓病、腎臓病
- (8) インターフェロン製剤で治療を受けている人

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

| 関係部位 | 症 状 |
|------|---------------|
| 皮膚 | 発疹・発赤、かゆみ |
| その他 | 頻尿、排尿痛、血尿、残尿感 |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。

その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称 | 症 状 |
|-----------------|--|
| 間質性肺炎 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。 |
| 偽アルドステロン症、ミオパチー | 手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。 |
| 肝機能障害 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |

3. 1ヶ月位（かぜの後期の諸症状に服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

効能

体力中等度で、ときに脇腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつくものの次の諸症：食欲不振、はきけ、胃炎、胃痛、胃腸虚弱、疲労感、かぜの後期の諸症状



用法・用量

次の量を1日3回食前又は食間に水又は白湯にて服用。

| 年齢 | 1回量 | 1日服用回数 |
|-----------|---------|--------|
| 成人(15才以上) | 4錠 | 3回 |
| 15才未満7才以上 | 3錠 | |
| 7才未満5才以上 | 2錠 | |
| 5才未満 | 服用しないこと | |

〈用法・用量に関する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

成 分

成人1日の服用量12錠(1錠390mg)中、次の成分を含んでいます。

*小柴胡湯エキス(1/2量).....2,700mg
〔サイコ3.5g、ハンゲ2.5g、ショウキョウ0.5g、オウゴン・タイソウ・ニンジン各1.5g、カンゾウ1.0gより抽出。〕

添加物として、ステアリン酸Mg、ケイ酸AI、CMC-Ca、セルロースを含有する。

〈成分に関する注意〉

本剤は天然物(生薬)のエキスを用いていますので、錠剤の色が多少異なることがあります。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)瓶の中の詰物は、輸送中に錠剤が破損するのを防ぐためのものです。開栓後は不要となりますので捨ててください。
- (5)使用期限のすぎた商品は服用しないでください。
- (6)水分が錠剤につきますと、変色または色むらを生じることがありますので、誤って水滴を落としたり、ぬれた手で触れないでください。



健康アドバイス

●ストレスを発散しましょう



ストレスは胃腸にとって大敵です。ストレスをためこまず、スポーツや趣味などを通じて上手に発散するように心掛けましょう。

●食事はゆっくりよくかんで



飲み過ぎ・食べ過ぎは胃腸をこわすもどです。特にお酒、煙草などの刺激物や胃腸を冷やす食べ物はできるだけ避けるようになります。

●心と体を休めましょう



心と体を休めることが消化機能のバランスを保ちます。睡眠を十分にとって、早め早めに疲れをとりましょう。

副作用被害救済制度の問合せ先

(独)医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

☎ 0120-149-931

本剤について、何かお気づきの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

クラシ工 薬品株式会社 お客様相談窓口 ☎ (03) 5446-3334

受付時間 10:00~17:00 (土、日、祝日を除く)

ホームページ www.kracie.co.jp

発 売 元

クラシ工 薬品株式会社

東京都港区海岸3-20-20 (〒108-8080)

製造販売元

クラシ工 製薬株式会社

東京都港区海岸3-20-20 (〒108-8080)